

2008年度（平成20年度）学校評価自己評価表

最終更新日 2008年（平成20年）4月1日

校番 11 福山市立 鳳 中学校

1 学校教育目標

自ら伸びる，共に伸びる

2 経営理念

(1) 地域社会における自校の使命（ミッション）

地域社会を支え，日本や世界の各地で活躍する社会人となるための基礎力の育成

(2) 使命の追及を通じて実現しようとする自校の将来像（ビジョン）

学力	学ぶ意欲の向上と，教育研究による指導方法の工夫改善
安心・安全	安心して学校生活を送り，自分を伸ばせる教育環境
経営力	マネジメントサイクルを活かした学校，学級，教科経営
スクールアイデンティティ	創立43年の歴史と伝統・誇り，地域からの信頼

(3) めざす生徒像

自ら目標を持ち，真剣に学ぶ生徒
 人を大切にし，共に伸びようとする生徒
 夢や目標に挑戦する生徒

3 自校の現状分析

- 課題 -
 授業規律の遵守，指導方法の工夫改善が課題である。
 「鳳中では，生徒に学力をつけるために積極的に努力している」に対する肯定的な評価は，生徒68.4%，保護者71.6%である。
 毅然とした指導と一致した行動が必要である。
 「鳳中では，統一した生活指導が行われている」に対する肯定的な評価は，生徒60.1%，保護者65.3%である。
 授業・生徒指導で，改善が目に見えることが必要である。
 「鳳中は，目標の実現に向けて着実に前進している」に対する肯定的な評価は，生徒76.0%，保護者84.7%である。
 平成20年2月調査より

4 研究主題

(1) 研究主題

確かな学力を育むための組織的取り組みに関わる実践研究
 - 授業力の向上を核として -

(2) 研究指定

指定	事業名等	期間
市	教育研究支援授業 - 理科 -	平成20～22年度

5 今年度の重点目標と設定理由

重点目標	設定理由
・あいさつ・マナーの慣行 ・授業力の向上 ・体験，経験活動の充実 ・和文化教育の研究・導入	「守・破・離」の「守」の充実 確かな学力・豊かな心・健やかな体の基盤として，自ら学び考える力を伸ばすとともに，自尊感情・規範意識の高揚を図る。

「守・破・離」について

日本古来の学びの型である。何事につけても，自主性・自発性・創意工夫（破・離）へ繋がっていくための土台（守）づくりを大切にしていかなければならない。
 また，それを具現化するための一つの切り口として，和文化学習を取り入れたい。

「守」...基礎・基本をしっかりと学ぶ。教えられた型から入り，それを大事にする。
 「破」...「守」を自分のものとし，その型を乗り越える工夫をしていく。
 「離」...型を離れ，自由に振る舞えるようになる。

6 評価基準

評価・指標評価	基準	
A・a	100%以上の達成度	十分に目標を達成できた
B・b	80%以上100%未満の達成度	概ね目標を達成できた
C・c	60%以上80%未満の達成度	ある程度目標を達成できた
D・d	40%以上60%未満の達成度	あまり目標を達成できなかった
E・e	40%未満の達成度	目標を達成できなかった

自己評価（中間）の基準は，10月20日までの計画に対する達成状況とする。

7 目標・評価項目の設定と評価

市重点 目標	年 目	中期経営目標	重 点	分類	短期経営目標	() 評価	評価項目・指標等 (成果 取組み 成果と取組み に着目)	() 指標 評価	評価項目・指標等 短期(中期)経営目標 の達成状況 改善方策				
確 か な 学 力	1	基礎・基本の確実な 定着	見直し	生徒が意欲をもつ ための授業計画			生徒の「授業満足度」に対する肯定的評価を70%以上にする。						
							生徒会により「授業参加」に関する具体的な目標のもと点検活動を行う。						
			見直し	既習内容を定着する 学習指導			自主ノート提出率を80%以上にする。						
							家庭学習が1日1時間未満の生徒数を半減させる。						
豊 か な 心	1	豊かな心情と創造的 な活動の育成	見直し	生徒の自律を促す 生徒指導			生徒の「ルールやマナーの遵守」に対する肯定的評価を80%以上にする。						
							生活指導マニュアル(遅刻, 服装, 言葉遣いなど)をもとに, 教職員全員が統一した指導を行う。						
							生徒会により「生活全般」に関する具体的な目標のもと点検活動を行う。						
			見直し	落ち着いて生活 できる環境づくり			生徒の「掃除満足度」に対する肯定的評価を70%以上にする。(「日本一宣言」による)						
							生徒会により「校内美化」に関する具体的な目標のもと点検活動を行う。						
							生徒・保護者・教職員等が一斉に行うトイレ掃除を計画し, 参加者を100名以上にする。						
			見直し	食育を基本に据えた 生活習慣の確立			食事の摂取率90%以上を維持する。						
							生活リズムの乱れを原因とする保健室への来室生徒を半減させる。						
2 ス (O P)	1	学校評価システムを 核とした経営 (学校・学年・学級 ・分掌)	見直し	全員で取り組む 授業力向上			年2回(6月, 10月)「授業改善」に関する重点期間を設定し, 全員が学習指導案を作成し授業公開を行う。						
							見直し	全員で取り組む 学校評価				評価・改善のための分掌部会を毎月開催する。	
												研修センターや教育研究団体が開催する任意研修会へ2回以上参加する。	
メ テ ニ 5 ミ G A	1	結果責任を果たすた めの組織的な取組み	見直し	情報の積極的な 発信・受信			学校通信(鳳中通信) ...月1回発行 ホームページ ...月2回以上更新 “学校へ行こう”週間 ...年2回実施 外部アンケート ...年2回実施 学校評価自己評価表に基づく実践報告会 ...11月開催 小学6年生児童・保護者対象のオープンスクール...11月開催						
							見直し	組織の一員としての 自覚と行動				保護者の「学校信頼度・満足度」に対する肯定的評価80%以上を維持する。	